

昭和57年度試験研究項目一覧表

研究目標	研究項目	担当研究室	摘要
森林の多目的利用のための基礎的技術	森林の生態系の機能の解明	—人工林の物質生産と循環 (アカマツ・ヒノキ混交林) (ヒノキ間伐試験) —タケの生理・生態	造 林 53～63 // 53～57
森林生産増大技術	地力維持・増進技術の確立	—森林土壌の水環境 —近畿・中国地域の森林土壌 —森林土壌の易分解性有機物 —竹材生産のための土壌条件の解明	土 じ ょ う 45～60 // 51～60 // 57～61 // 57～62
	育林技術の改善	—人工林の保育 (スギ間伐方法比較試験) (ヒノキ技打ち試験) (天然更新と下層植生) (フィリッピンにおける早生)樹の生長解析 —人工林施業法の解明 —林地肥培 —合理的短期育成林業技術の確立 —蓄積経理システムの開発	造 林 53～70 経 営 41～61 土 じ ょ う 43～62 造 林 <指定研究> 経 営 <技術開発課題>
森林の公益的機能の維持増進	水保全技術の高度化	—温暖少雨地帯における林況と流出 (山火事が直接流出に及ぼす)影響 (斜面表層土壌内での地下水)面上昇についての解析 —竹林の雨水貯留機能	防 災 56～72 防 災 57～59
	生活環境保全的利用技術の確立	—緑化木の特性と生育環境条件 —低山帯ならびに都市近郊地域の土壌と緑化 —寡雨地帯の育林技術	造 林 52～57 土 じ ょ う 49～58 岡 山 (試) 35～60
森林被害防除技術		—病害防除ならびに発生要因の解析 (病害発生状況)	樹 病 29～

研究目標	研究項目	担当研究室	摘要
	(主要病害の発生要因の解析) —管内虫獣害発生状況調査 —スギ・ヒノキ穿孔性害虫 (スギカミキリ被害の実態調査) (スギカミキリ成虫個体群の林内移動・分散) (スギカミキリ成虫の飛翔能力) (人工飼料によるスギカミキリの飼育) —野兎鼠の生態と防除 (西日本におけるハタネズミとスミスネズミ個体群の動態) (野兎個体群の動態) —竹林および竹材の害虫 —広葉樹の病害 (ミズナラの立枯病) (トウカエデうどんこ病) (クリ立枯病) —サクラ主要病害の防除対策 異常冠雪害の発生機構の解明と造林的対策 (冠雪被害林分の実態調査) —マツ類の枯損防止 (マツノマダラカミキリの羽化脱出消長) (マツノマダラカミキリの保線虫数) (マツノマダラカミキリの飛翔能力と保線虫数との関係) (スミチオン感受性ヒノキに対するサリチオンの落葉防止効果) —マツ枯損防止新技術開発調査 (微害地におけるマツ枯損の発生環境調査および薬剤による防除) (マツノマダラカミキリの密度推定法) —スギカミキリ等せん孔性害虫の防除技術	昆虫 // // // 樹病 // 造林・防災 昆虫 樹病・昆虫 (樹病) (昆虫) 昆虫	30～ 51～60 52～62 57～61 56～60 <特定研究> <プロジェクト研究> 51～60 <特定研究> <技術開発課題>
被害の調査技術および予察技術の確立			
森林管理による予防技術の体系化			
防除技術の改善および新防除技術の開発			

昭和57年度試験研究項目一覧表

研究目標	研究項目	担当研究室	摘要
林業技術の 体系化と経営の近代化	—野鼠防除法の確立 (近畿・中国地方における林床植生型と野鼠類の発生との関係)	昆虫	<技術開発課題>
	マツ枯損防止に関する新防除技術開発のための発病機構の解明	樹病	<特別研究>
	〔発病に關与する生理化学的要因の解明〕 (マツの代謝生理と発病との関係) (マツの個体間及び種間における抵抗性要因の解析)	樹病	<特別研究>
	〔発病の疫学的解明〕 (発病の疫学的研究)	昆虫	<特別研究>
	森林食害発生機構の解明及び被害抑止技術	経営	<国立公害>
	〔被害の実態と発生環境の解析〕 (被害量の経済評価)	経営	<国立公害>
	〔森林環境別個体群動態解明〕 (カモンカの年齢査定と既存林分の被害解析)	昆虫	<国立公害>
	林業技術の体系化と経営の近代化——林業経営技術体系の確立 (磨丸太の生産流通構造) (久万林業の成立発展) (吉野地方における優良材の生産構造) (高品値材の需給構造) (林業後継者の経営定着化)	経営	46～65
	合理的林業経営構造の解明と管理方式	経営	53～58
	—育林投資と施業技術の評価 —林業経営管理手法の確立 (林業経営計画に関する問題) (林業経営計算に関する問題)	//	52～61
生物資源の 効率的利用 技術の開発	林地生態系における新樹種導入と効率的生産システム——〔バイオマス—ササ資源〕 (繁殖・再生機能の種間差異) (刈取り収穫と再生量)	造林	<大型別枠研究>